

石島会計メモ

平成27年 4月号



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島洋一

8割の会社が黒字になりました！！！！

《 石 島 洋 一 》

☆☆2年前の無謀に思えた目標

石島会計メモの平成25年1月号に私はこんな文章を書きました。

「現在、一般的には黒字企業の割合は50%程度、調べたら私たちの顧問先の黒字企業の割合は59%でした。比較的高いのですが、このような数字では満足できません。2年以内に黒字企業の割合を70%にしたいです。」

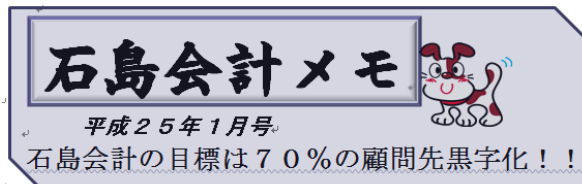
このとき、「70%」はかなりきつい目標と思っていました。2年がたってどうだったのでしょうか？

この2年間、「成績の良い会社が増えたな」——感覚的にはそのよう

に感じていたものの、実際に経営成績を集計するまでドキドキでした。

結果は、なんと経常利益の黒字企業の割合が78%、会社の最終利益である当期純利益で見ると黒字企業は80%にも達しているのです。

私たちの顧問先企業では5社のうち4社が黒字企業なのです。顧問先企業のうちの8割が利益法人という会計事務所は、そう多くはないでしょうから非常に嬉しいことです。



売上高対経常利益率 構成割合の推移

利益率	H24年 構成割合		H26年 構成割合	
20%以上	5%	黒字 59%	7%	黒字 78%
10~20%	12%		19%	
5~10%	14%		11%	
0~5%	28%		41%	
-5~0%	16%		5%	
-10~-5%	7%		4%	
-10%未満	18%		13%	

☆☆他力本願の目標だったが…

「2年以内に黒字企業割合70%」と言っても、それは私たち会計事務所が中心となって実行できた目標ではありません。ましてや、その黒字企業の割合が8割という驚異的な数字は、たまたま私どもが素晴らしいお客様に恵まれていることだけを示しているのかもしれない。



しかし、手前味噌になりますが、事務所のメンバーの行動を見ていますと、以前よりもお客様の会社の収益改善をどうするかなど、考えている機会が増えたように思います。まだまだ十分に満足して頂けていないケースもあろうかとは思いますが、今後も皆様方の企業一社一社が大きく成長して頂くためのお手伝いをしていきたいと思えます。

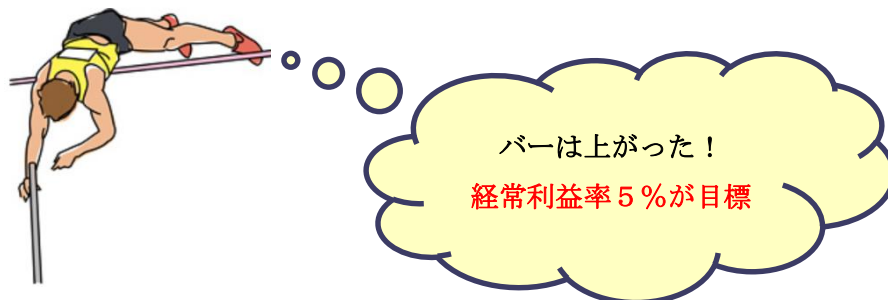
☆☆ランクアップしたい黒字企業

昨年度赤字法人だった企業でも、特殊事情があったり、たまたまの事情があったりした企業は多いと思えます。そうした企業では、是非黒字を目指して頑張るって欲しいところです。

また、8割が黒字といっても、残念ながら手放しで満足できるレベルではありません。前掲の表を見て頂ければわかるように、売上高対経常利益率0%~5%程度の企業が多くなっているのです。実に4割の企業がこのランクに入っています。しかも、その中でも黒字スレスレの会社が多いのです。

同じ利益率0%~5%のランクでも、経常利益率5%の企業は「まずまず」という評価は与えられるでしょう。高収益会社という評価の入り口にあると考えて良いと思えます。

しかし、経常利益率2%程度以下では、ちょっとした環境変化で、すぐに赤字転落してしまいます。業種にもよりますが、今度はバーを少し上げ、「**経常利益率5%**」を是非企業の利益目標にして頂きたいと思えます。各企業が素晴らしい成果をあげていただくよう期待しております。



横浜マラソン2015に出場しました！



(文章：芦原 衛)

久しぶりに会計メモ登場の芦原です。今回は、私が「横浜マラソン2015」に出場したお話です。3月15日に開催された同大会、フルマラソンは今回が初めてで、コースの一部が高速道路というなかなか話題性の高い大会でした。みなとみらい大橋をスタートして、横浜中央卸売市場南部市場で折り返し、首都高速道路湾岸線（杉田入口→本牧ふ頭入口）を通過してパシフィコ横浜でゴール。これは面白いと思い早速申し込んだところ、なんと当選してしまったのです。

レース前日

ゼッケンを取りに引渡会場へ。場内を見て回りましたが、横浜マラソンでは、大会当日に提供される「ラッキー給食」（種類は多いが非常に数が少ない貴重な給食）や「給水パフォーマンス」（給水所でいろんなパフォーマンスが行われる）にすごく力を入れていて、ランナーが飽きずに快適に走れる工夫をしていることがわかりました。ちなみに私が着目したラッキー給食は、「お江戸の子ブタまん」と「よこすかメロンパンラスク」。どちらか一つぐらいはレース当日に手に入れて食べたいなと思いながら、会場を後にしました。



(ラッキー給食)

レース当日

走る準備を済ませていよいよスタート地点に集合です。すると電話が鳴りました。事務所の所長です。きっと「遅かったら賞与なし!」とか言われるだろうなと思い電話に出たところ、激励の電話でホッとしました。実は、この大会前に、所長が某社ランクラブのAさん宛てにこんなメール送っていたのです。『3月15日、横浜マラソンに芦原が挑戦します。長い間、御社の独壇場であった我が事務所との対抗戦に一矢を報いるべく、練習を行っております。「先日4時間半切りをしたAさんの記録の上を軽くいく」、と本人は申ししておりますが、言外の様子でそのように把握しております。ちなみに、御社の社長の記録以下（4時間40分超）の場合には、夏の賞与は辞退する（これも本人は言っておりませんが、その覚悟があることは容易に理解できます）ことになっております。いずれにせよ、私にとっては、芦原の記録が大きく伸びれば嬉しいし、不調であった場合も賞与コスト削減という嬉しいプレゼントになります。』という内容でした。所長らしいですね(笑)。

(裏面へ続く)



いよいよスタート

2万3千人ものランナーがいるので、スタートの号砲からスタート地点に到着するまでは約15分かかり、さらにスタート直後は道幅が狭く、しばらく団子状態が続きました。5km地点ぐらいからやっと自分のペースで走れるようになり、そしていよいよ21km地点、**首都高速道路の入口**です。高速道路の電光掲示板がおもしろい表示になっていたので写真を撮ってみました（右写真）。



（首都高速道路湾岸線杉田入口）

見ての通り急なこの坂、目の当たりにしてゾッとしました。しかし、この坂を登りきって高速道路に入ると、なんと清々しい感じで、とても気持ちよく走り出せました。ここまでは、トイレ混雑でのタイムロス以外は順調でした。

レース後半

高速道路をしばらく走っていると、なんとなく足に違和感があり、靴底が道路にしっかりと着いていない感じがしました。26~27km地点で完全に足が重くなってきて、周りにも歩き出す人や屈伸をする人が増え始めていました。

原因は、この高速道路の構造でした。もともと人が走る事を想定して造られていないため、前後の傾斜だけではなく、左右の傾斜もあるのです。苦しみながら、ようやく首都高速道路湾岸線本牧ふ頭入口で高速道路を降り、再び一般道に戻り、残りあと約10kmとなりました。

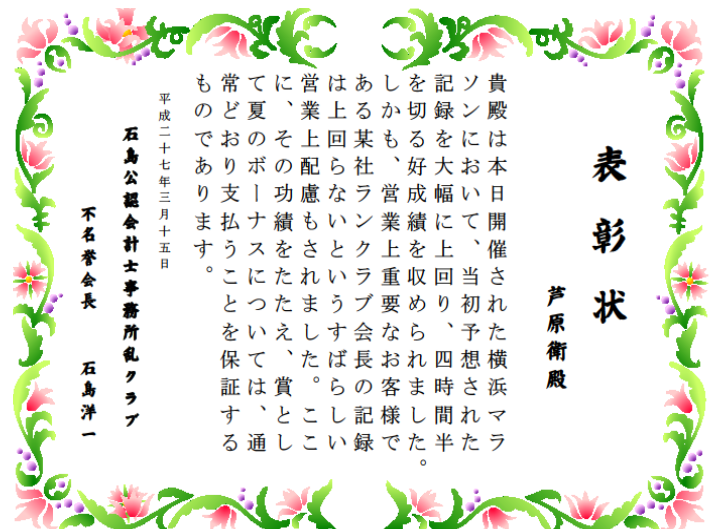
ついにゴール

高速道路を降りてから平坦な道をただ黙々と走っていると、ようやく40kmの表示が見えました。すると「**芦原！頑張れー！**」とどこからか声が聞こえてきました。なんと所長と奥様でした。遠くまで応援に来てもらえて、驚いたのと同時に嬉しかったです。あの時の応援は、「**夏の賞与は大幅アップ！**」と言っているように聞こえました（実際には言っておりませんが、その覚悟があることは容易に理解できました(笑)）。



（完走メダル）

そして**ギリギリ4時間半を切ってゴール**。終わってみれば、楽しみにしていた高速道路で失速し、ラッキー給食のこともすっかり忘れていました。後日、所長からこんな表彰状をいただきました。以上、「横浜マラソン2015」のご報告でした。（H27.4.6現在★）



★この後、本大会の距離が186m不足の事実判明。賞与はどうなる？